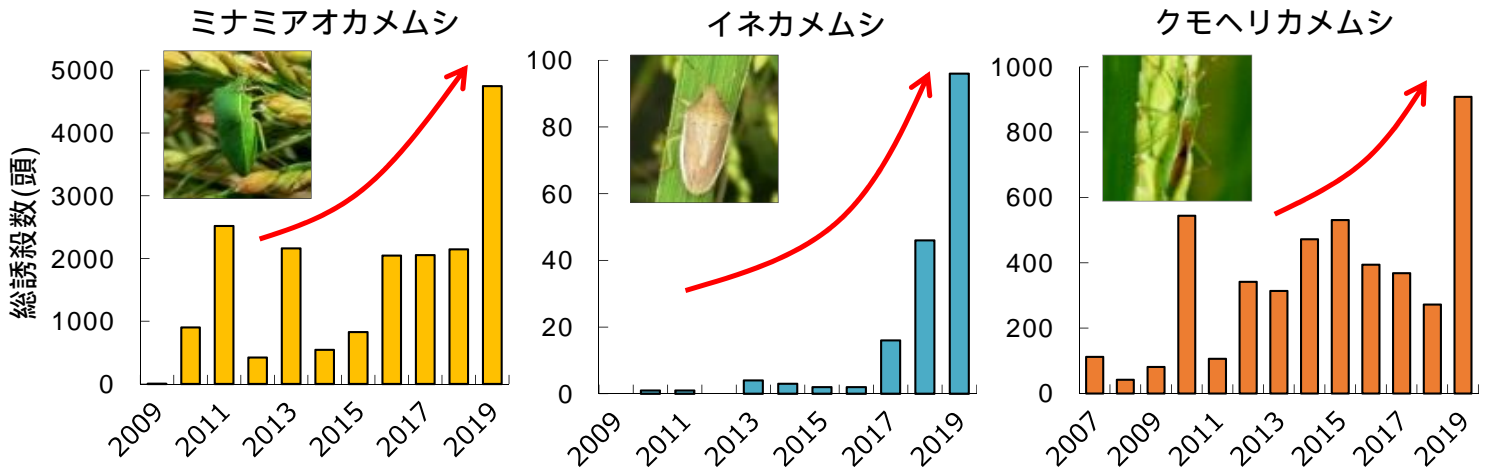


斑点米カメムシが多発しています！ 注意報¹が発令中！

1 三重県病害虫防除所
 2 三重県農業研究所調査



予察灯におけるカメムシ類の一年間の総誘殺数の推移 (松阪市、100W水銀灯、病害虫防除所による調査)

ミナミアカメムシは例年の2倍以上の誘殺数が確認され、クモヘリカメムシはすくい取り調査で例年発生が少ない7月初旬から、非常に多く確認されています。²

斑点米カメムシの誘殺数は、この10年間で急激に増加しており、特に今年は、過去最多であった2019年を超える勢いで発生が確認されています。

防除のポイント

畦畔の草刈りは、出穂の10日前までに！

出穂後の草刈りは、畦畔のカメムシを本田に移動させてしまうので逆効果です。

穂揃い期には、薬剤散布を！

穂揃い期の吸汁は収量減少(不稔粒)に、乳熟期は品質(斑点米)に影響します。発生数が多い場合には、追加防除が必要です(1回目の7~10日後)。

二カキゅうには、スタークル粒剤で同時防除を！

二カキゅうの多発圃場や晩生品種では、穂揃い期~7日前の散布で同時防除が可能です。

「カメムシ類」に登録のある殺虫剤の例 (令和2年7月1日時点)

薬剤名	散布量	希釈倍数	使用時期
スタークル粒剤	3kg/10a	—	収穫7日前まで
キラップ粒剤	3kg/10a	—	収穫14日前まで
スタークル液剤10	60~150L/10a	1000倍	収穫7日前まで
キラップフロアブル	60~200L/10a	1000~2000倍	収穫14日前まで

農薬の使用にあたっては、ラベルに記載された内容を十分に確認してください。